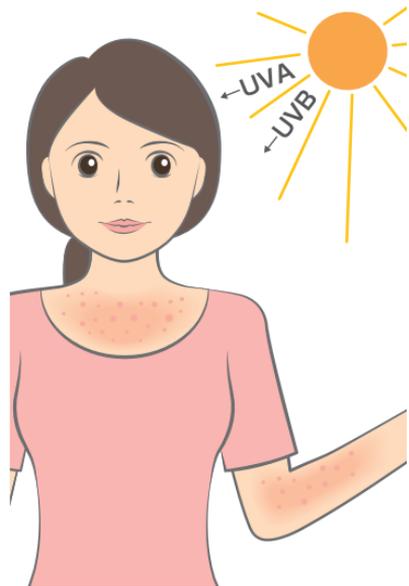


今年初めて半袖で外出したら腕に発疹が「多形日光疹」かもしれません

立川皮膚科クリニック

www.tachikawa-derma.com

多形日光疹の症状



衣替えのシーズンになりました。この時季、半袖で外出した後、腕や胸元に発疹が出る場合があります。この症状について日本皮膚科学会認定皮膚科専門医で、立川皮膚科クリニック院長の伊東秀記先生に聞きました。

「初夏のころ、半袖の服を着て外出した後、腕や胸元など肌を露出していた部分に赤くてかゆみを伴う発疹が出たら、その湿疹は多形日光疹と

思われます。成人女性に多く、名前の通り多形で、赤みのほか、丘疹、水ぶくれになるなど、症状はさまざまです」

「軽度の光線過敏症の一種で、紫外線により皮膚内にアレルギーが起き、アレルギー反応を起すことがあります。普段から日光に当たっている顔や首などには耐性があるため、発疹が出て軽度なのが特徴です。」

「原因は？」

「治療法は？」

「かゆみが強い場合は抗アレルギー剤の内服薬やステロイド剤の外服薬を処方します。」

「これからの季節は、帽子や日傘、日焼け止めなど紫外線対策を工夫して、直射日光を避ける工夫も大切です。外出後、赤みがなかなか引かない場合は、皮膚科の医師に相談をしてください」

月から始まり、秋ごろまで続くことが多いです

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業、東京慈恵会医科大学皮膚科非常勤講師



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで受け付け	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで受け付け	17:30まで受け付け

問い合わせ
☎042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分

2019年6月14日付 「リビング多摩」に掲載されました